

ピックアップ FAMIC

さいたま本部 有害物質等分析調査統括チーム



農林水産省のサーベイランス・モニタリング計画に基づき、食品中の有害化学物質等を分析

農林水産省は、アクリルアミド、かび毒などの食品中の有害化学物質について、人の健康に悪影響を及ぼす可能性がどの程度あるかを把握し、その問題を未然に防ぐためリスク管理に取り組んでいます。そして、そのリスク管理に不可欠なデータを得るため、実態調査を行っています。FAMIC 有害物質等分析調査統括チーム（以下、チームといいます。）は、リスク管理に必要な有害化学物質を、化学的手法により分析しています。

チームの分析データは、信頼性の高いものである必要があります。チームでは、農林水産省が求める分析の精度を達成できるよう、最適な分析条件の検討も行っています。その条件をまとめた手順書に従い、対象の食品や農産物を分析します。この時、分析の精度を確認するためのデータも同時に取得し、測定値のばらつきなどが目標とする範囲内であるかをチェックしています。



麦類のかび毒の分析

粉状にした麦試料から、有機溶媒を含む抽出液でかび毒を抽出します。抽出後、測定の際の邪魔になる物質の除去や、機器で測定するための処理などの工程があります。試料一つ一つについて、同じように正確な操作を行うことが求められます。

Comment



リスク管理に資するデータ取得のために

チームでは、データの信頼性を確保するため、ISO17025 試験所認定を取得しています。正確なデータの報告等、「有益」な部署であることに努めています。（有害物質等分析調査統括チーム長）